

■2024年4月～9月末 運用実績(速報)

2024年4月～9月末における助成資金運用の収益率は1.4%、収益額は1,551億円、9月末時点の運用資産額は11兆1,121億円でした。市場環境としては、グローバル株式・グローバル債券(ともに米ドル建て)は上昇、円高が進行した半期となりました。米欧における利下げ観測の強まり等を背景に、グローバルに金利は低下、株価は上昇しました。一方で、日本銀行の利上げ姿勢を受けて、日米金利差は縮小、円高ドル安が進行しました。

[運用実績]

(2024年4月～9月末)

収益率※1※2	収益額※1	運用資産額※3
1.4%	1,551億円	11兆1,121億円

※1 運用手数料等控除前 ※2 収益率は時間加重収益率 ※3 9月末時点(短期資産を含む)

- ・本資料の半期実績は速報値であり、今後変更となる可能性があります。
- ・国際卓越研究大学等への助成財源は、損益計算書上の当期純利益が元となりますが、当機構は独立行政法人通則法に基づき、事業年度(4月～翌年3月末)毎の決算を行っていることから、半期での当期純利益の公表は実施しておりません(本公表における収益額・収益率は、9月末時点での保有資産の評価損益も含む時価で算出された値です。)

[参考:市場環境(インデックス推移)]

[グローバル株式とグローバル債券の推移]



※2024年3月末時点を100とする

※グローバル株式はMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み)、グローバル債券はFTSE世界国債インデックス

■当面のスケジュール

現在は、基本ポートフォリオ構築までの期間(運用立ち上げ期)であり、当面のスケジュールは下図のとおりです。
2026(令和8)年度末までの可能な限り早い段階で3,000億円の運用益を達成すること、2031(令和13)年度末までの可能な限り早い段階で基本ポートフォリオを構築することを目指します。
なお、運用立ち上げ期は「支出目標率3%+物価上昇率以上」の運用目標は適用されません。

